

オッス！
読んでね♡
にゃ～



か・ま・く・ら 散歩 ウォーキングツアー体験

「鳩の散歩」歩・歩・歩～ (ぽっ、ぽっ、ぽっ～)

つわものどもの夢の跡、今日鎌倉に行ってきました。大河ドラマをテーマにゆかりのスポットを訪ねてきました。謎とされる義時の最後はドラマでは毒殺されたのかそれとも朝廷の陰謀なのか病死なのか、はたまたどのような解釈と演出をするのが楽しみです。

京都・奈良に比べて三方を山と海に囲まれ谷戸だらけで平地も狭く坂東の遠いところで、よくも文化が栄えたと思います。800年前の当時は文明の電気もなく夜は暗闇が深く暗黒に月食・日食陰陽現象と、疫病、怨霊が蔓延し自然災害も発生した時代で、サムライ戦士たちの心のよりどころとして運慶などが修行した仏教・仏像が深く広く信仰されました。テロ国家さながらの権力闘争で、血で塗られた武将たちの壮絶な人生が交錯した栄華盛衰の爪の跡が身近なところに残されています。神社仏閣、風化した石仏や供養塔のやぐらに中世の長い歴史の足跡を見ることができます。一方、若宮大路、西御門、二階堂、雪ノ下、衣張山（きぬばりやま）などの古都の地名は優美な文化的彩りがあり、大佛次郎など文人が創造力を掻き立てるには魅力的な街になったのかもしれない。

段葛沿いの路面店には以前刀剣、骨董店がいくつかありましたが今は影が薄くなり、真新しいホテルメトロポリタンが建つなど昭和の見慣れた風景は少し変わりつつありました。

「八幡宮」では朝廷文化に長けた実朝の歌碑をみんなで探したり、「世界平和祈願」と個人的には「どうか、もっと幸せになれるように♡」そして「ピンコロと下の世話になりませんように♡」とお祈りしてまいりました。

これぞ鎌倉!! 当時の谷戸の風情が体感できる静寂な佇まいの「覚園寺」、「もみじ」の本数も多く紅葉狩り本番が楽しみです。更に、義時が建て 1354 年足利尊氏が再建した部材が現存する「薬師堂」、薬師三尊と義時戌神将伝説の十二神将に見入ると武将の足音が聞こえてくるようで拝観する価値があります。頼朝の墓、義時法華堂では意外にも頼朝と鳥津忠久、大江広元と毛利元就との深い関係があることも分かりました。

「永福寺跡」(廃寺)は頼朝が奥州征伐で藤原氏、義経など亡くなった武将たちの鎮魂のため平泉中尊寺を模して建て、鎌倉の豪華絢爛のさまを京に見せつけその後、頼家や実朝が朝廷から貴族を呼んで夜な夜な歌会、蹴鞠などの朝廷文化の催事や接待に明け暮れたとのこと。それが原因の一つとも考えられ御家人から信頼を失う形で源鎌倉殿三代の滅亡につながったとも言われています。近年その場所が発掘され新たな隠れた旧跡になりました。

鎌倉いたるところに中国宋時代の器が大量に発掘され関東でも外国との貿易が盛んだった